

宗教・信条に対する配慮を希望される皆様へ

当院では、可能な限り宗教・信条に対する配慮を心がけておりますが、全てのご要望にお答えできない可能性もございます。以下をお読みいただき、ご理解をお願い致します。ご不明な点等は、主治医等にご相談ください。

<輸血について>

当院では、「※相対的無輸血」の立場で診療を行っております。手術をはじめとする診療中に「生命の危機」が生じ、医師の倫理にもとづき輸血をせざるを得ないと判断した場合においては、宗教的理由などから輸血を拒否される患者さんに対しても、輸血を実施する立場を取っておりますことを ご了承ください。

※ 患者さんの意思を尊重して可能な限り無輸血治療に努力するが「輸血以外に救命手段が無い」事態に至ったときには輸血をするという立場・考え方。

<診療・検査を担当する職員について>

当院では、診療、検査等において全て同性職員のみで対応することは困難です。同性職員のみに限定すると適切な診療が難しくなる場合があるためです。特に休日・夜間、緊急の場合（分娩や生命に関るような状況）には異性職員が担当する可能性があることをご了承下さい。

<医薬品等について>

当院では、動物由来成分（牛や豚など）を含む医薬品等を使用しております。使用を拒否したい医薬品がある場合は、始めにお申し出下さい。なお、生命に危険が及ぶ場合や代替品がない場合はやむを得ず使用することがありますのでご了承をお願い致します。

なお、消毒に関してはアルコールを含まない消毒液、消毒綿がございますので、ご希望の際はお申し出下さい。

<入院中の食事について>

豚肉牛肉（またはその成分）やアルコール等を除いた食事が必要な場合は、お申し出ください。入院に際して管理栄養士から聞き取りを行わせていただく場合があります。なお、ハラルのような厳密な対応は出来ないこと、緊急時は除去していない食事が提供される場合があることをあらかじめご了承ください。

<祈祷について>

当院では、現在のところ祈祷専用のスペースは設けておりません。長期の入院等で祈祷のご希望がある場合は、ご相談ください。

<その他>

上記以外にも、宗教・信条に対する配慮が必要な場合はご相談ください。可能な範囲で対応させていただきます。